

浜名湖競艇企業団

インターンシップの魅力



①『公営企業』としての事業経営や公営競技『モーターボート競走事業』について学ぶことができる

⇒公営企業のインターンシップに参加できる機会は少ないです！

②企画・立案を実践的に体験・理解できる

⇒企画・立案をし、職員から丁寧にフィードバックをするインターンは数多くありません。また、実際に提案して頂いたアイデアが実際に採用される...かも!?

③先輩職員と直接触れ合い、やりがいを見つけることができる

⇒先輩職員と接し、社会人の考え方に触れることで企業の魅力や働くことの楽しさを発見できる絶好の機会です！

④将来への気付きを得て、成長することができる

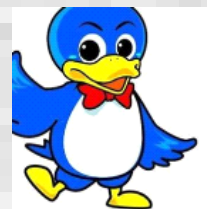
⇒学年の制限もなく、様々な学生と関わり、その中で刺激をもらうことで、「自分が何をしたいのか」「何を目指したいのか」を改めて考えるタイミングとなります！

インターンシップ実施レポート①

主に宣伝課でチームラボアイランド、ファンサービス補助、イベントの取材及び写真撮影、業者との打ち合わせ等に取り組みました！



↑ イベントを撮影中。
ベストショットを逃しません
でした！



ートレース浜名湖
boatrace.hamanako.jp

ーム

き

回

画

ージ情報

ミュニティ

メント

ージを作成



ートレース浜名湖さんが写真12件を追加
2017年8月13日

中日スポーツ後援 湖西市長杯争奪戦 黒潮杯に開催
ステージにて、
徳増秀樹選手、池田明美選手、豊田祐選手のトークショーを行いました！

3選手の乗艇の仕方の紹介や、質問に〇Xで答えていただき、たくさんの方
にお楽しみいただきました！
一番の盛り上がりを見せたのは徳増選手のピット離れ講座でした！



↑ 業者との打ち合わせに同席。
企画が出来上がるまでの過程を
経験しました。

← 実際にSNSに投稿。
たくさんのいいね！をいただ
くことができました。

新規ファンを獲得するためのイベントの企画立案をしました！



← 最終日のプレゼンに向けて、真剣な表情です。



← 初めて社会人相手にプレゼンするので緊張しています...



← 案が行き詰った時は先輩職員が優しく指導してくれます。



↑ フィードバックの際には、「職員の見線では見られない角度から考察したね。」と褒めていただきました！

インターンシップ実施レポート②

宣伝課、財務課、総務課の3コースに分かれ、各課の職務を取り組みました！



宣伝課では、宣伝戦略について学びました。実際に場内イベントの補助をしながら、現状分析をした上で、ターゲット層等を考え、新規顧客を獲得するイベントの企画立案をしました。



財務課では、公営企業としての事業経営について学びました。その他にも、ボートレース業界の売上を分析し、レース開催日程を模擬的に作成をしました。



総務課では、ボートレース浜名湖場内のデッドスペースの利活用について学びました。その後、現在の施設状況やお客様の動線等を考慮しながら、新たな施設の活用方法の企画書を作成しました。

最終日に、以下の表のとおり職員の前で発表会を行いました。

Aコース	宣伝課	新規顧客の獲得を目指したイベントの企画立案
Bコース	財務課	レース開催日程案の作成
Cコース	総務課	デッドスペースの利活用の企画立案



各コースともにメンバー内で課題に対して議論を交わし、意見をまとめることができました。先輩職員からのフィードバックもあり、達成感・満足感から皆さんやりきった表情をしていました。

インターンシップ参加者の声①

～己を振り返り、更に一步先へ～ ■ Sさん 男性(大学3年生)

「チームで仕事をする」とはどのようなことかを実感できた3日間でした。意見を多く提案する者、チームをまとめる者がいる中で自分はそれらの人を俯瞰して意見を言える人間だと感じました。自分の役割は、意見を提案する中で話がそれないか、軸がブレないかを見極めることであり、力を身につけることが出来たと思います。多くの職員、インターンシップ生との会話を通じて様々な考えや価値観を知ることができた素晴らしい3日間でした。



～企業団でしかできない体験を～ ■ Oさん 女性(大学3年生)

今回、財務課の仕事を体験してみて、売上分析など、今までに体験したことのないことを体験することができてよかったです。職員の方と同じ場所で仕事をする中で、その場の雰囲気を感じることができました。とても良い雰囲気で、優しく指導して下さいまして感謝しています。また、インターンシップでは協調性の大切さを改めて感じる事ができました。みんなで一つの事を成し遂げた時の達成感はこの上ないものです。二人で意見が食い違うこともありましたが、完成後は達成感で満たされました。



インターンシップ参加者の声②

～企画立案ができる場を求めて～ ■ Iさん 女性(大学2年生)

キャリアセンターの方に、「イベントの企画をやらせて頂ける企業は中々ない。」と言われていたのもあり、企画からプレゼンまで全て学生にやらせて頂いた点が個人的にとってもよかったです。

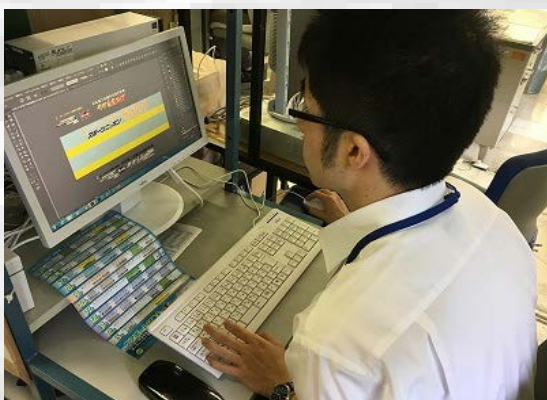
また、多くの大人の方に自分のプレゼンを聞いてもらう機会もなく、この経験は私の財産になったと思うし、これからの就活に対するモチベーションも上がりました。



～職員と距離が近い実習環境で～ ■ Tさん 男性(大学3年生)

実習中は同じコースのメンバーをリードすることの難しさを知りました。意見が食い違う中、どのように展開していけば、より良い意見となっていくのか考えていくことが私の成長に繋がっていくと感じました。

また、レース開催中にも関わらず、職員の方が親身になり、付き添ってポートレース場内を見学できたことありがたかったです。職員の方の距離も非常に近く、何でも聞ける環境が素敵でした。



～知識・経験を深め、今後の糧に～ ■ Iさん 女性(大学3年生)

私が一番成長できた、経験できて良かったと思うことはコース別での企画提案、プレゼンです。私はあまり発言などをしなく、意見などがあっても抑えてしまうことが多かったのですが、今回の実習ではリーダーとなり、やりきったことは1つ成長できた点だと思います。

また、参加メンバーにも恵まれ、メンバー同士で実習後にはご飯を食べに行く関係を構築することができたこともよかったです。

皆さん、慣れない環境のなか、お疲れ様でした。

